



令和元年 9 月 20 日  
海上保安庁

## JICA 研修員が大分県別府港で海図作製のための測量実習をします ～アジア 3 カ国への国際貢献～

JICA課題別研修（水路測量技術者養成の国際認定コース）参加のため、アジア3カ国から来日している6名の水路測量技術者からなる研修員は、9月25日から10月25日にかけての約1カ月間、大分県別府港で測量実習を行います。研修員は、この実習を通して、開講以来、約3ヶ月間の講義で得た理論を実際の測量現場で実践し、必要な技術の習得を図ります。

実習では、水深だけでなく、海岸の形状や灯台の位置等、様々な情報を多様な測量手法で明らかにするとともに、出身国の異なる研修員が、チームワークを大切に全員で力を合わせ、海図作製に向けたさまざまな測量に取り組みます（別添 1 参照）。

また、実習期間中には、別府市長表敬訪問（別府湾の海図の贈呈をあわせて実施）、大分海上保安部訪問も実施予定です。

### ○実習日程

令和元年 9 月 25 日（水）から 10 月 25 日（金）（うち実習日数 27 日間）

#### 【実習期間中の主な予定】

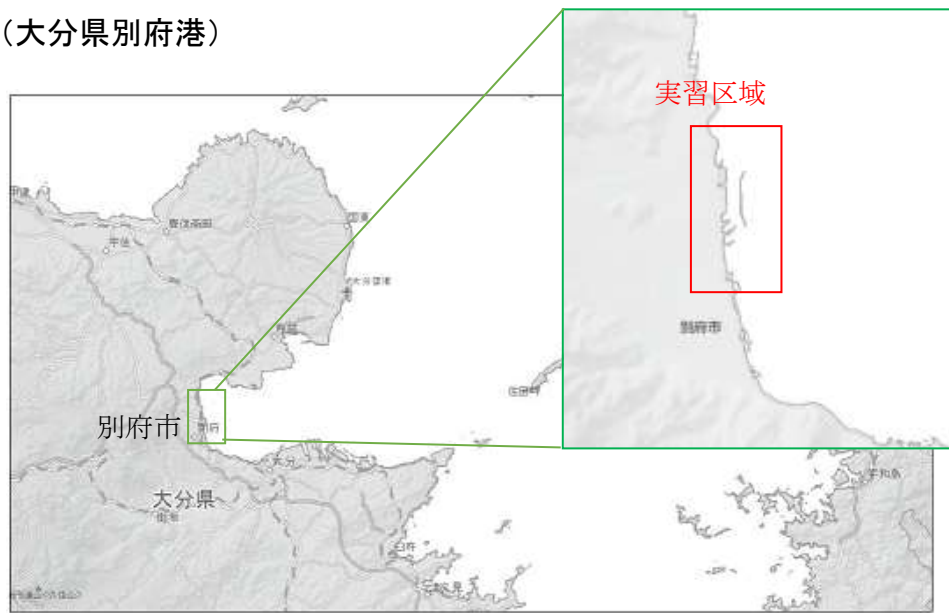
日 時		
9 月 25 日（水）	13:00～13:15	大分海上保安部表敬訪問
9 月 26 日（木）	15:00～15:15	別府市長表敬挨拶訪問
9 月 27 日（金）	～ 10 月 9 日（水）	陸上での測量
10 月 11 日（金）	～ 10 月 21 日（月）	海上での測量

※上記の予定は天候等により変更の可能性があります。

### ○今年度の研修員（3 カ国 6 名）

インドネシア 4 名、ミャンマー 1 名、タイ 1 名

○実習場所（大分県別府港）



○過去の实習の様子



大分海上保安部訪問



別府市長表敬訪問



陸上の測量作業の様子



船舶での測定の準備



海上での測量作業の様子

## 陸上での測量

海図に掲載する海岸線や、航海上の針路目標となる灯台等の位置を明らかにします。

### 原点測量

基準となる点の位置(緯度経度・標高)をGPS等のGNSS(全球測位衛星システム)により測定します。この測量で決定された基準点の位置を基に、多角測量を行います。



### 多角測量

原点測量によって位置が明らかになった点を基準として、そこからの距離と角度を測定することにより、航海上の目標になりうる灯台等の位置を決定します。



### 岸線測量

海岸線やその付近の地物(岩や人工物等)の位置を測定します。本実習では、GPSを用いた測位機器による測量も併せて行います。



## 海上での測量

海図に記載する水深を明らかにします。

### 測 深

船を使用して海域の水深を明らかにします。本実習では、GPSを用いた船位測定と陸上から海上の船の位置を測定して測線への誘導を行い、船に取り付けた測深機により水深を測定します。

